



発行：原子力発電環境整備機構（NUMO）

<http://www.numo.or.jp/>



秋も深まり、暖房が恋しくなる季節ですね。最近、ウォームビズの一環として“ウォームシェア”という取り組みもあるのを皆さんご存知でしょうか？
みんなで暖かいところ集まって、寒い季節を上手に節約して乗り切りたいですね。

本日は、新たに詳細が決定した8都市の「科学的特性マップに関する意見交換会」の開催日程や「国際講演会」の開催案内、新しい動画のご紹介などの情報をお届けします。

★★★国から「科学的特性マップ」が提示されました★★★

▽「科学的特性マップ」についてのページはこちらから

http://www.numo.or.jp/kagakutekitokusei_map/

《目次》-----

◆お知らせ/イベント情報など

- 【開催報告と予定】「科学的特性マップに関する意見交換会」を全国46都道府県（福島県を除く）で開催中。本日、新たに詳細が決定した8都市のお申し込み受付を開始しました！
- 【開催案内】11/14：国際講演会「ベルギーにおける放射性廃棄物処分の現状と今後」のお申し込み受付中。受付は明日17時まで！
- 【動画掲載のご紹介】新たに制作した動画「地下研究施設を見る」をYouTube“Channel NUMO”でご覧いただけます
- 【出展報告】11/4、5：東京都市大学 世田谷祭「サイエンス・カフェ」にNUMOが出展しました
- 【出展報告と予定】コミュニケーション3Dシアター「ジオ・ミライ号」の出展報告と今後の予定

◆NUMOのひと

◆お知らせ/イベント情報など

- 【開催報告と予定】「科学的特性マップに関する意見交換会」を全国46都道府県（福島県を除く）で開催中。本日、新たに詳細が決定した8都市のお申し込み受付を開始しました！

NUMOは国と連携し、「科学的特性マップに関する意見交換会」を全国46都道府県庁所在都市（福島県を除く）で開催しています。

各都道府県の開催については、日程が決まり次第、ホームページでご案内しており、本日、新たに決定した12月20日（水）までの会場をホームページに掲載し、お申し込み受付をスタートしました。お知らせ済み以外の開催地につきましては、日時、会場が決まり次第、ご案内させていただきます。

各会場の定員は100名（先着）。どなたでもご参加いただけます。

皆さまのご参加をお待ちしています！

▽「科学的特性マップに関する意見交換会」お申し込みなど詳細はこちらから

<https://www.numo.or.jp/iken2017/>

★現在、受付中の開催日程

■開催地	開催日	開催場所
山梨	11月10日(金)	山梨県 JA 会館 ※お申し込み受付は終了しました
福岡	11月13日(月)	アクロス福岡 ※お申し込み受付は終了しました
熊本	11月14日(火)	ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
岩手	11月16日(木)	岩手県産業会館 (サンビル)
秋田	11月17日(金)	秋田県 JA ビル
岡山	11月20日(月)	岡山コンベンションセンター (ママカリフォーラム)
広島	11月21日(火)	メルパルク広島
佐賀	11月29日(水)	佐賀市文化交流プラザ交流センター
長崎	11月30日(木)	長崎県総合福祉センター
三重	12月5日(火)	三重県総合文化センター
宮城	12月6日(水)	TKP ガーデンシティ仙台 (AER 内)
長野	12月7日(木)	JA 長野県ビル
山形	12月8日(金)	大手門パルズ
山口	12月12日(火)	山口グランドホテル
大分	12月13日(水)	ホルトホール大分
鹿児島	12月19日(火)	鹿児島県市町村自治会館
宮崎	12月20日(水)	KITEN ビル

■開催時間

開場・受付 13:00／開会 13:30／閉会 16:40 (予定)

■プログラム

(第1部) 資源エネルギー庁、NUMOなどからの地層処分および科学的特性マップの説明

(第2部) グループ形式での意見交換

▽「科学的特性マップに関する意見交換会」お申し込みなど詳細はこちらから

<https://www.numo.or.jp/iken2017/>

★開催終了のご報告

東京 (10/17)、栃木 (10/18)、群馬 (10/19)、静岡 (10/24)、愛知 (10/25)、和歌山 (10/30)

大阪 (10/31)、奈良 (11/1)、兵庫 (11/2)、埼玉 (11/6)、神奈川 (11/8)

※「意見交換会」特設サイトでは、各会場の議事録や動画もご覧いただけます

▽現在、群馬会場までの報告をご覧ください

<https://www.numo.or.jp/iken2017/>

【開催案内】 11/14：国際講演会「ベルギーにおける放射性廃棄物処分の現状と今後」
のお申し込み受付中。受付は明日 17 時まで！

11 月 14 日（火）に、国際講演会「ベルギーにおける放射性廃棄物処分の現状と今後」を開催します。

本講演では、ベルギーの処分実施主体 ONDRAF/NIRAS（ベルギー放射性廃棄物・濃縮核分裂性物質管理機関）の前理事長 ジャン＝ポール・ミノン氏をお招きし、ベルギーにおける放射性廃棄物処分の現状や今後の予定、またこれまで地域の方々とどのように関係を築いてきたのかなどをご紹介します。

第二部では、コーディネーターとして村上氏に加わっていただき、ミノン氏と近藤理事長による座談会を行います。

参加は無料です。お申し込み受付は明日 11 月 10 日（金）17 時、締切間近です。お早めにお申し込みください！

■日時：11 月 14 日（火） 13:30～16:00（予定）

■場所：三田NNホール&スペース 多目的ホール（東京都港区）

■内容

第一部：講演「ベルギーにおける放射性廃棄物処分の現状と今後」

第二部：座談会 ジャン＝ポール・ミノン 氏（ONDRAF/NIRAS 前理事長）

村上 朋子 氏（(一財)日本エネルギー経済研究所 戦略研究ユニット

原子力グループ グループマネージャー 研究主幹）

近藤 駿介（NUMO 理事長）

▽「国際講演会」お申込など詳細はこちらから

<http://www.numo.or.jp/topics/201717102014.html>

【動画掲載のご紹介】 新たに制作した動画「地下研究施設を見る」を YouTube “Channel NUMO” で
ご覧ください

高レベル放射性廃棄物の処分については、人による積極的な安全管理を必要としない地下深部の安定した岩盤へ処分する「地層処分」が適切であるということが、国際的にも共通した考えです。日本でも、地層処分を行うために必要な地下環境特性について、2 つの地下研究施設で調査・研究をしています。

このたび、日本と海外の地下研究施設についてご紹介する動画を制作しましたのでご案内します。

▽NUMOの最新動画「地下研究施設を見る」は YouTube “Channel NUMO” からどうぞ

<https://www.youtube.com/channel/UCWkXz0HwsaabNZIuCzgQwLg/featured>

【出展報告】 11/4、5：東京都市大学 世田谷祭「サイエンス・カフェ」にNUMOが出展しました

11月4日（土）、5日（日）に東京都市大学 世田谷祭「サイエンス・カフェ」にNUMOが出展しました。当日は在校生だけでなくそのご家族なども来場いただき、お子さまから大人の方まで多くの方々とお話をすることができました。

当日の様子はNUMO公式 Facebook でご紹介しています。

▽東京都市大学 世田谷祭「サイエンス・カフェ」の当日の様子はこちらから

<https://www.facebook.com/numo.jp/>

【出展報告と予定】 コミュニケーション 3D シアター「ジオ・ミライ号」の出展報告と今後のスケジュールをお知らせします

★コミュニケーション 3D シアター「ジオ・ミライ号」出展報告

- ・10月21日（土）：電力中央研究所 横須賀地区（神奈川県横須賀市）に出展しました。
- ・10月28日（土）、29日（日）：5-Days こども文化科学館（広島県広島市）に出展しました。
- ・11月3日（金・祝）：中電ふれあいホール 駐車場（鳥取県鳥取市）に出展しました。
- ・11月4日（土）、5日（日）：原子力の科学館「あつとほうむ」（福井県敦賀市）に出展しました。

★今後の出展予定は以下のとおりです。ご来場をお待ちしております！

- ・開催日：11月12日（日）
- 開催場所：宇部工業高等専門学校「高専祭」（山口県宇部市）

▽「ジオ・ミライ号」の予定はこちらから

<http://www.numo.or.jp/pr-info/pr/event/index.html>

★★★NUMOホームページ「よくあるご質問」はこちらから★★★

http://www.numo.or.jp/q_and_a/

【NUMOのひと】

総務部の水野です。NUMOで、はや2年が過ぎました。

これまで原子力に係る業務をした経験は少なく、若い頃、海外再処理施設の建設資金融資を担当した程度でしたので、日々、悪戦苦闘の連続といった状態です。このたびは、私の社会人とし

で経験してきた業務のうち、思い出深い経験を三つ紹介したいと思います。

まず、一つ目は「都市再開発における未利用エネルギーを活用した地域冷暖房システム導入プロジェクト」。

このプロジェクトに、事業許可・料金認可・土地建物取得・地元補償等業務全般の担当として建設の初期段階から加わり、システム運転開始後の安定操業に至るまで在籍しました。当時は機械・電気・計測制御等各分野の技術者や総合建設会社の方々と、目標達成に向け一丸となってプロジェクトに取り組み、BGMに重厚なテーマソングが流れているような感覚でした。

今、その時整備した施設でNUMOが説明会を開催したり、近隣の子供達が社会見学している姿を見ると感慨深いものがあります。

二つ目は「地震津波発生時における人の行動心理に関する調査研究」。

東日本大震災が発生する前年（2010年）、研究員として今後30年以内に70%程度の確率で発生するとされる東南海・南海地震に備え、「どうすれば人は避難行動を行うのか」をテーマに調査研究に取り組みました。

私個人の結論としては、「地震発生までに積み重ねた知識経験と実際の日々における対策訓練が最も重要である」ということでした。人はどうしても潜在意識として“自分は大丈夫”と思いがちです（正常性バイアスと呼ばれています）。どうすればこの意識の壁を乗り越えることができるのか、今も自問自答するとともに、当時フィールドワークでお世話になった自主防災会の皆さんや町役場の方々のことが思い出されます。

最後、三つ目は「地域食材のアジア輸出に向けたマーケット調査研究」。

地方において食品・農水産物は重要な産業分野です。そして、アジア地域は経済成長が著しく、貧富の差が拡大し、今後、富裕層の厚みが増していくと推察されます。こうしたことから、アジア地域の経済成長を日本の地方経済に反映することは、地方にとって喫緊の課題です。このため、中国上海にマーケット調査へ行き、現地街頭でのテスト販売や流通事業者へのヒアリング調査を実施しました。

私個人の感覚として、食べ物は安全が一番大切。特に子供には安全なものを食べさせたいという母親の気持ちは皆同じで、日本の食品・農水産物に対する信頼度は高いです。しかし、いざ日本から輸出するとなると、輸送コストや関税・検疫等大きな問題が山積し、事業者が乗り越えていくのは苦難の連続だと思います。しかし、この壁を乗り越えアジア地域に根付いた事業者も実際にあり、現地調査を手伝ってもらった学生や現地企業の方々が、おいしそうに日本のそうめん等を食べ、これは上海のどこで売っているのか、日本のどの企業と取引すればいいのかと問う姿を見ていると、必ずしも夢のような話ではないと思えました。

こうして振り返ってみると、自分自身ずいぶんユニークな職務経験をしてきたものだと実感します。私のような者も地層処分事業の一端を担っております。地層処分事業は、各々の職員が各々の職務を全うし、社会からの信頼を得られるよう日々努力し続けております。今後とも皆さまのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

メルマガ登録はこちらから <http://www.numo.or.jp/mailmagazine/>
メルマガ解除はこちらから webmaster@numo.or.jp
(件名に「メルマガ解除」と記載してください)
ご意見、ご感想はこちらから webmaster@numo.or.jp
〔連絡先〕 地域交流部 TEL 03-6371-4003
